



横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより

横浜ウェーブ

第218号



新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。昨年中も聴覚障害者情報提供施設事業の実施にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

昨年11月に開催されました「東京2025デフリンピック」は、日本初開催・100周年記念という歴史的意義を持ち、競技面でも日本選手団が金メダル16個、銀メダル12個、銅メダル23個を獲得し、過去最高の成果を収めました。スポーツを通じて社会の多様性と共生を体現した大会であり、今後のデフスポーツ振興にも大きな影響を与えたと思います。

横浜ラポールにおいても、横浜市、(一社)横浜市聴覚障害者協会と共に、東京2025デフリンピック周知・機運醸成を目的とした「デフバスケに触れて、応援しよう」の開催や、全国巡回中のキャラバンカー(主催:全日本ろうあ連盟)を迎える式典を行うなど力を尽くしました。

今年も利用者、通訳者、職員の安全を第一とし、安心してサービスをご利用いただけるよう努めてまいります。ぜひ、足をお運びください。

皆さまにとっても明るい一年となりますよう、今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

トピックス

全国障害者スポーツ大会

10月25日(土)~10月27日(月)、第24回全国障害者スポーツ大会「湖国の感動 未来へつなぐわたSHIGA 輝く障スポ 2025」が開催されました。

横浜市は、(公社)横浜市身体障害者団体連合会理事長の須山優江氏を団長に、選手 49 人、役員 28 人の計 77 人が選手団として派遣されました。聴覚障害の選手は陸上 2 人、フライングディスク 2 人、卓球 1 人の計 5 人でした。職員と、手話通訳者 2 人が帯同しました。

期間中はあいにくの空模様でしたが、選手は現地のスタッフやボランティアのサポートを受けながら各競技に参加しました。選手団としてのメダル獲得数は金メダル38個、銀メダル22個、銅メダル10個の計70個という好成績を収めました。喜びはもちろん、悔しさも含めて、選手一人ひとりの思いを感じることができた大会でした。

来年は青森県で開催されます。選手の皆さんのが新たな目標に向かってご活躍されることを、心から応援しています。



結団式の様子

事業報告

若年層を対象とした講演

10月24日(金)にフェリス女学院大学の依頼を受け緑園キャンパスにて、10月31日(金)に東京科学大学の依頼を受けすずかけ台キャンパスにて、学生や支援室などの関係者に手話通訳者・要約筆記者について興味を持っていただくための講演をしました。24日は集合で約10人、31日はオンライン含む約48人がご参加くださいました。聴覚障害者とのコミュニケーションのコツや、横浜市の通訳者養成の流れ、現役手話通訳者からなど、お話をしました。

今後も、手話通訳者・要約筆記者に関心のある若年層の拡大に努めていきます。お気軽にお問い合わせください。



「聴覚障害者の健康学習会」

9月24日(水)と10月1日(水)横浜ラポールで、10月10日(金)と17日(金)ラポール上大岡を会場として聴覚障害者を対象に、「聴覚障害者の健康学習会」を実施しました。第1回は「骨を強くしよう」、第2回は「筋肉の低下を防ごう」をテーマに、骨や筋肉に必要な栄養の摂り方、筋力低下を防ぐストレッチなどを体験しながら学びました。椅子に座りながらできる簡単なストレッチもあり、参加者から「継続して頑張りたい」との声もありました。



第2回「聞こえの相談交流サロン」

11月4日(火)、聞こえにくい方やそのご家族を対象に「聞こえの相談交流サロン」を実施し、18人がご参加くださいました。今回は「読話を体験してみよう」をテーマに、読話をについて説明した後、ペアになって読み取りの練習や連想ゲームを体験していただきました。「参加型で楽しかった」「初めて学び勉強になった」「サロンで久しぶりに会えた人がいて嬉しかった」などの感想をいただきました。



次回の交流サロンは、3月6日(金)「難聴者の体験談」をテーマに実施します。先着20名定員です。お気軽にお問い合わせください。

保土ヶ谷区 地域コーディネート研修 講師派遣

11月10日(月)、保土ヶ谷区役所にて標記研修会が開催され、地区センター・コミュニティハウス・ケアプラザ・子育て支援拠点・スポーツセンターから18人がご参加くださいました。聴覚障害や聴覚障害者の特性について、また対応方法について話しました。ロールプレイでは、実際に聴覚障害者が来客されたと想定し、ヘッドホンから雑音を流すことで難聴者が過ごしている環境に近い体験をしていただきました。積極的に参加していただき、聴覚障害者への理解を深めていただきました。

講座「聞こえと補聴器」

11月5日(水)、17日(月)、25(火)の3日間、横浜市障害者社会参加推進センター、横浜市中途失聴・難聴者協会、横浜市健康福祉局主催の講座「聞こえと補聴器」が開催されました。17日の講座では当施設の相談担当職員から「聴覚障害者の福祉制度と聞こえの相談事業」というテーマで、補装具(補聴器)や屋内信号装置などの日常生活用具の給付、要約筆記者の派遣について、また聞こえの相談事業について紹介しました。要約筆記派遣事業は、通院や講演会、地域活動、趣味の教室などいろいろな場面で利用することができます。同じ講座でお話された難聴者の体験談の中でも、要約筆記を利用することや、聞こえにくい仲間との交流がいかに大切だったかをお話していました。

この講座を機会に、聞こえにくいことを理由にその方の活動の幅が狭まってしまうことのないよう、要約筆記の利用も含め、難聴者への理解が広がっていくことを願っています。

手話通訳者課題別研修 実技ブラッシュアップ研修

課題別研修(実技)として「ブラッシュアップ研修」を読み取りと聞き取り表現にわけ、外部講師を迎えて少人数での研修会を実施しています。読み取りは、9月26日(金)と10月3日(金)にオンライン研修を行いました。講師の市田泰弘氏から、日本手話の文法的要素(音韻、非手指要素)の特徴や、翻訳の考え方について指導をいただきました。

また、聞き取り表現では10月28日(火)と11月18日(火)に、下城史江氏をお招きし、医療現場におけるCL表現や日本語から手話への言い換えについて直接指導をいただきました。また、内科の初診場面や手術前の医師から説明など場面を設定し模擬通訳を行いました。11月25日には、研修を振り返り気づいたことなどを話し合いました。研修での気づきを実際の通訳で活用していただけることを期待しています。

要約筆記者現任研修

11月12日(水)は手書き、パソコンそれぞれ、全国要約筆記問題研究会から吉田講師、米倉講師をお招きし、昨年度、同じく全要研にお願いした「聴く力」を受けての実技研修を行っていただきました。

手書きでは、学校の保護者説明会を題材としたノートテイク実技を行いました。利用者が見やすい姿勢、バインダーやペンの持ち方、利用者が必要としている情報を的確に聞きつかみ筆記することなど、全てにおいて利用者視点で考え実践することを学びました。パソコンの実技でも、構造を捉えて「能動的に聴くこと、読みやすさ・見やすさ・理解しやすさの視点からの表記を学びました。

参加者からは、「『間に合わないから要約するわけではない』と講師がおっしゃった。今まで間に合わないから要約する意識ばかり持っていたのではとしました。」「利用者視点に立ち、ニーズに応えるため常に能動的に聴くようにすべきだと思いました。話の流れだけでなく、固まりとして把握するようにしたいです」などの気づきが寄せられました。今後も利用者視点を常に意識し研鑽を重ねてまいります。



令和7年度聴覚障害者向け映像制作担当職員研修会

11月6日(木)~7日(金)に愛媛県視聴覚福祉センターで開催されました。全国の聴覚障害者情報提供施設から34人が参加しました。1日目は、北九州市立聴覚障害者情報センター字幕制作ボランティア「クレヨン」からの「字幕制作の取り組みについて」のお話と、岡山放送株式会社の篠田氏から、「ろう者と作り上げた30年の手話放送について」の講義がありました。字幕制作や手話放送の具体例が示され、参考になりました。また、2日目のグループワークでは、企画のプロットの立て方や交渉術、技術研鑽の方法、また人材育成など幅広いテーマで話合いました。専門職として映像制作をどう進めていくかなど議論することができました。

普及・啓発 出前講座・講師派遣

4月24日(木) GCRS 社会福祉協議会

4月30日(水)港北手話サークル梅の会

5月29日(木)磯子区シニアクラブ 横浜シニア大学

6月10日(火)藤嶺会 藤が丘二丁目B自治会シルバー会

6月17日(火)庄戸サンクラブ

6月21日(土)都筑老人クラブ連合会 南山田未広会

7月15日(火)泉区シニアクラブ連合会 横浜市シニア大学 7月22日(火)上飯田地域ケアプラザ

8月4日(月)横浜市消防学校人権啓発研修

8月20日(水)サニーライフ金沢八景

9月17日(水)神奈川県警保土ヶ谷警察署

9月30日(火)鶴見区寺尾地区地域ケアプラザ

上記団体から依頼を受けて、講師を派遣しました。聴覚障害者対応のポイントやコミュニケーション実践を中心に、通訳者の派遣制度や、NET119やアプリ110、電話リレーサービスなどについても説明しました。(また、今年は新企画「聞こえの出前講座」も実施。難聴の仕組み、補聴器についてなども説明しました。)興味のある方は、普及・啓発担当へご連絡ください。【普及・啓発】rapo-keihatsu@yokohama-rf.jp

おおいた

(11月末までの累計)

■通訳者の派遣・紹介人数

■聴覚障害者の相談

内 容	手話通訳	要約筆記	合 計	昨年同月	相談事業	実件数	対応数
医療・保健	3, 481	88	3, 569	3, 815	医 療	59	155
司 法	17	8	25	16	職 業	30	106
教育・保育	458	23	481	465	教 育	1	2
労働・雇用	314	1	315	318	住 宅	24	54
社会生活	653	17	670	801	生 活	220	424
自己啓発	226	9	235	142	福 祉	140	216
福祉推進	748	685	1, 433	1, 516	法 律	11	23
介護保険	1, 185	25	1, 210	1, 363	聞こえ	72	79
他都市	45	2	47	50	合 計	557	1, 059
合 計	7, 127	858	7, 985	8, 486	昨年同月	469	795
昨年同月	7, 514	972	8, 486				

■通訳者の現任研修

手 話	回 数	23	参加人数	639	自主制作作品数	51
要約筆記	回 数	22	参加人数	430		

情報の動き

11月

- 1 デフリンピックキャラバン
- 4 聞こえの交流サロン
- 6 出前講座（東本郷地域ケアプラザ）
- 6-7 全聴情協映像制作担当者研修会参加（愛媛県）
- 8 ヨコアリくんまつり（港北区）
- 10 手話2年次研修
- 10 講師派遣（保土ヶ谷区役所）
- 11 休館日・電気点検日
- 12 要約筆記者現任研修
- 15 横浜市立ろう特別支援学校ときわ祭参加

17 聞こえと補聴器の講座

17 衛生委員会

18 手話通訳者プラッシュアップ研修

25 手話通訳者プラッシュアップ研修

26 出前講座（さつきが丘粋いきクラブ）

12月

1 手話1年次研修

3 出前講座（新栄地域ケアプラザ）

4 難聴児協議会参加

10 要約筆記者現任研修

12 きこえない・きこえにくい社会人のための講座

16 出前講座（保土ヶ谷地域ケアプラザ）

17 中区役所人権研修講師派遣

22 衛生委員会

25 事業団研究発表会

26 仕事納め

28-1/4 横浜ラポール休館日

29-1/3 情報提供施設休業

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより『横浜ウェーブ』

発行日:令和7年12月31日

発行者:(社福)横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752 TEL.045-475-2057 FAX.045-475-2059

ホームページ <https://yrf.jp/rapport/jyoutei>